

成長・貢献・感謝

2年3組の道徳研究授業

考え議論する道徳へ



雲は心。心と心をつなぐのは虹。では、虹は何？。道徳ファイルに描がかれた素敵な虹。

5月10日(金)、2年3組さんの愉快な仲間達とK先生が、今年度初の校内研修会「道徳の研究授業」を行いました。

主題は『かけがえのない命』。わずか3日間しか生きられない命。小さな命とその両親の心の記録に触れながら、命の期間と幸せについて考えていきます。

生まれる前のたくさんの赤ちゃん達が、両親へプレゼントを送るために神様と相談しています。

プレゼントは、スポーツ・芸術などの才能、お金や幸運などです。

みんなが様々なプレゼントを選んで生まれていきますが、そのプレゼントの中に、病気というプレゼントがありました。もちろん、誰も選びません。

羽地中学校
学校だより 32号
R1. 5. 23



ある赤ちゃんは考えます。いろいろなプレゼントがあるけれど、何故、神様は誰も選ばないであろうこのプレゼントを準備したんだらう。誰かが選ばなくてはならないのだからか。

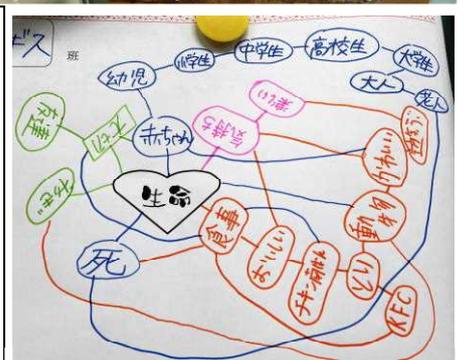
考えている間に、どんな他の素敵なプレゼントが選ばれていきます。

その赤ちゃんは、病気を選びました。そして、生まれつきの病気で生まれてきます。両親は、嬉しさで悲しさを揺れ動かします。神様は、何故、病気で生まれた赤ちゃんを私達に授けたのだらうと。

生命について、個人で考えていきます。そして、グループでウェビングしながら、生命とは何かを広げていきました。ウェビングしたものを黒板に掲示して、全体で共有していきました。



他のグループが考えた生命について、発表したり、議論したりする時間はありませんでしたが、3組の皆さんは今日の道徳の価値「生命」に誠実に向き合い、考えていきました。皆さん、お疲れ様でした。心が洗われる素敵な道徳の授業でした。



生命は巡る、つなぐを表したウェビングさらに深く考えると、時間や食べ物や友達から「生命」について議論できた。